

▶ 第4章

金正恩政権の観光政策

——コロナ禍での観光地区開発

慶應義塾大学 准教授

礒崎 敦仁

【ポイント】

- ▶ 金正恩政権は観光開発を重視している。金正恩国務委員長自ら建設現場に何度も足を運び、2019年末には陽徳温泉観光地区が鳴り物入りでオープンした。20年には元山葛麻海岸観光地区も竣工の予定であった。
- ▶ 2020年は世界的な新型コロナウイルス感染拡大への防疫措置の一環として、北朝鮮ではインバウンドが全面的に中止された。これまでも中国におけるSARS（重症急性呼吸器症候群）やMERS（中東呼吸器症候群）の蔓延を受けて外国人観光客の受け入れを中断したことはあったが、今回ほど長期的で厳格な策がとられるのは初めてである。さらに夏以降には洪水被害の復旧作業に追われ、元山葛麻海岸観光地区の工期は延長に延長を重ねることとなった。
- ▶ 北朝鮮は、外国人観光客を受け入れることに対して警戒感が強いものの、1980年代から試行錯誤しながら事業を拡大してきたことに鑑みれば、コロナ感染が沈静化すれば観光事業も再開されることになろう。



注目データ

金正恩委員長の「観光」に関わる動静報道一覧

2018/5/26	元山葛麻海岸観光地区建設場を現地指導
2018/8/17	元山葛麻海岸観光地区建設場を現地指導
2018/11/1	元山葛麻海岸観光地区建設場を再び現地指導
2018/11/1	平安南道陽徳郡温泉観光地区建設場を現地指導
2019/4/6	元山葛麻海岸観光地区建設場を現地指導
2019/4/6	平安南道陽徳郡温泉観光地区建設場を現地指導
2019/8/31	陽徳郡温泉観光地区建設場を現地指導
2019/10/23	金剛山観光地区を現地指導
2019/10/25	完工段階に至った陽徳郡温泉観光地区建設場を現地指導
2019/11/15	陽徳温泉文化休養地建設場を再び現地指導
2019/12/8	労働党時代文明創造の新たな境地を開拓した特色ある人民奉仕基地陽徳温泉文化休養地竣工式盛大に開催一参席して竣工テープを切った

資料：『労働新聞』報道日を基準に作成